

草津・毒水沢

T野

2023年10月13日

メンバー： T野・I崎・T崎・T村m・T村e・S口・T中m



「毒水沢」何ともすごい名前である。入渓したいとはとても思えない沢の名前である。ところがどっこい、行ってみてビックリ、ここは、美渓・良渓、温泉、ブルーベリー（クロマメ）と沢のお試しの人に沢好きになってもらうには超お薦めの溪なのだ。

実は、僕は2010年7月に初めて入渓して、あまりの楽しさに同じ年の10月に違うメンバーを連れて再び入渓した。それは、同じ沢をあまりリピートしない僕にとってはかなり珍しい事であった。さすがに、年に2回も入渓したので、その後は訪れることはなかった。ただ、今年は9月～10月の沢登りがホント充実したので、たまには、少し気を抜いてストレスのないのんびりした沢に行きたくなった。

久しぶりに安達太良の沢か毒水沢で紅葉を楽しみながら癒されたい！！

そう思ってメンバーを募集したところ、集まったメンバーに未遡行の人が多かったのが毒水沢であった。「よし、毒水沢に決定！！」

■写真上 入渓点

■写真中 早速、紅葉とナメがお出迎え！！

■写真下 キレイな溪相だ！！

ところで、今回、自ら計画を企てるのに車が出せない、という状況であった。最悪、レンタカーか？という状況の中、思わぬ大物が釣れた！！T崎さんである。およそ、この手の沢には喰いつかないと思っていたので「実は、毒水沢、行きたかったんです！！」と参加を表明してくれた時は意外に思ったが、半面こういう沢でも来るんだと思うと少し嬉しかった。まあ、本人曰く、ぎっくり腰のリハビリも兼ねてだ



ったようだが、理由はどうあれ大歓迎である。さらに彼は車も所有しているので、レンタカーという選択もせずに済んだ。その後、I崎さん、T村夫妻も参加表明して、何だかんだで車3台、7名の大所帯となった次第である。今回は天気心配もご無用！！ということで、下記、報告です。



前夜、T崎車、T村車に分かれて東京を出発、道の駅「草津運動茶屋公園」で合流し、入山祝い。気温5℃「さ・さぶい！！」つい、この間までは30℃オーバーの真夏のような日が続いていたというのに、秋を通り越して一気に冬になったみたいだ。いつの間にか、帽子・手袋・ダウンなどの装備が必要な季節になったのである。舐めてかかると大きなしっぺ返しを食らうことになるので気をつけよう！！

■写真上 この溪最大の
大滝！！

■写真中 大滝の上は明るい
ナメ滝の連瀑

■写真下 右も左も快適に
登れる！！



朝もダウンに包まってコンビニで朝食・買い出しの後、天狗山の駐車場に車をデポして、あまり沢に入る気分ではなかったが、準備を整え、7:30に出発。車道を少し歩くと芳が平方面に行く登山道があり、それを歩く。入渓点まで約4kmあり、それなりに長い。まあ、おかげで体も温まり、「沢



登りしてもいいかな」という気持ちになってきた！！さらに、登るにつれちらほら紅葉も・・・そんな感じで8:30入渓点到着。先行パーティーがいて、準備していると後続パーティーも来た。確認できただけで3パーティー・・・人気の沢である！！

のんびり準備して9:00入渓。渓はすぐに小綺麗なナメが続くようになる。水は限りなく透き通っていて美しく、温泉沢の雰囲気ではない。ただ、いったんその水を口に含むと「うゑー超



スッパイ！！」この辺りはまだ、水温こそ温かくないが、間違いなくここは温泉沢である。やがてウォータースライダーができる3m位の滝、夏なら滑りたいところだが、目に水が入ると目が開かなくなるのでゴーグルは必携である。最初に訪れた時に、何も知らずに痛い目にあっただので、僕はもうやらないけど・・・人には思い切り奨める。何故かって？「知らないのは新たな発見！！」何も知らずに経験することで驚きが味わえるのは良いことだと思うから。



- 写真上 源泉発見！！
- 写真中 温泉滝の連瀑！！
- 写真下 3級のシャワークライミング！！簡単に巻ける。

ここに初見の人を連れてきたら、まず、沢の水を口に含ませ、そのスッパさに驚いてもらい、この3m滝でウォータースライダーをやってもらい、しばらく目の痛みに耐えてもらう、これは儀式なのだ。（なんてウツソー！！）

さて、渓は明るく、ナメ床



メインの美しい流れが続き、楽しく遡行する。やがて、10mはあろうかと思われる大滝が現れる。頑張れば右壁を直登できそうだが、そういう目的の沢ではないので左岸にある明瞭な踏みあとを登ると、問題なく滝上に導かれる。

ここで、溪は一気に開け、美しいナメ滝の連瀑帯！！この溪一番のビューポイントだ。とても気持ちの良いところである。ここは右も左も好きなところを直登できて楽しい。嬉々として登って行くと、いつしか水が温かい。左岸には50℃くらいの温泉が湧いていて、ここからしばらくは、あちこちに源泉があり、秋でも水温は温かく遡行は苦にならない。やがて、辺りは白い岩から茶色い岩になり、ゴルジュっぽくなっていく。滝もいくつかあるが、登っても3級程度だし、簡単に巻くこともできるのでルートは自由にとれる。以前に遡行した蔵王の振り子沢上部に少し雰囲気似ているが、考えてみれば、蔵王も



草津も火山でお釜があって、似たようなロケーションなので沢も雰囲気が似てくるのであろう。

■写真上 岩が茶色になるとゴルジュ帯になる。

■写真中 気持ちよく突破できる！！

■写真下 ゴルジュが終わるともう源流部。



ゴルジュを登るとやがて二俣。ここは左に入ると再び沢の水が温かくなっていく。そして最後の滝の釜はまさに源



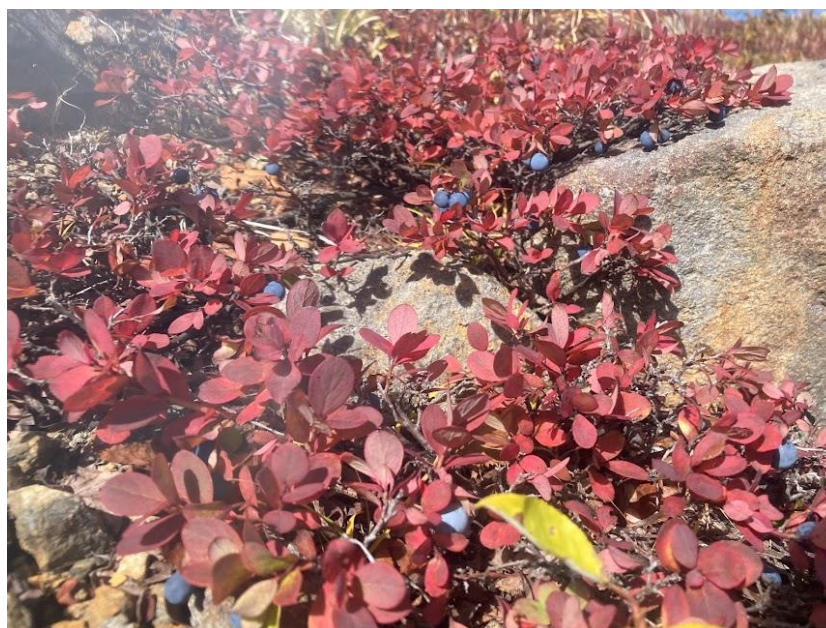
泉かけ流しの野湯！！雰囲気も眺めも良く、ロケーションは最高だ！！ただ水温は35℃位とややヌルメなので、この時期だと入るのはまだ良いが、出てからが少々寒い。我々は分別のある大人なので？ 控えめに足湯と手湯で満足することにする。

そして源頭！！ここは何と、クロマメの大群落！！粒が大きくて甘い実がたわわに実っている！！こんなに美味しい実は初めてである。それは店で普通に買ったブルーベリーにも決して負けない素晴らしい味だった。

夏のような快適な温泉入浴は難しいが、その分この時期には、こういった楽しみがある。それに今年は外れとはいえ、まずまずの紅葉も楽しめ、とにかく様々なアトラクションが目白押しでホント飽きない沢であった。

クロマメを頼張りながら歩くと、藪漕ぎも急登もなくあっさりと登山道に出る。イヤイヤこれはデート沢ですね。まあ、前回来ているからわかったことだけど・・・。

下山も、距離はそこそこ長い（約6km）。でも、基本、膝にやさしい道でのんびり歩いて2時間15分で下山、お疲れさまでした！！



■写真上 かけ流しの温泉
滝！！

■写真中 クロマメを賞味
中！！

■写真下 源流部はクロマメ
の大群落！！

I 崎さんはケンちゃんの別荘の様子を見に行くということで、ここでお別れ。他のメンバーは まずは温泉。「大

滝の湯」(JAF 割引で¥990)で汗を流し、打上げは焼肉!!「あおぞら原町店」のディナーセット(ロース・カルビー・味噌汁・サラダ・豆腐・漬物・デザート付きで¥3000でちょっとお釣りがくるくらい。)を大人喰い!!値は少し張るが肉が厚く、柔らかく食べ応えもあって大満足!!まあ、今日のご褒美である。

さて、今年の沢もそろそろ秒読み、今回も楽しく過ごせました。一緒に行ったメンバーの皆さん、有難うございました!!また、ご一緒しましょう。

■コースタイム

天狗山スキー場駐車場(7:30)～(8:35)入渓点(9:00)～(9:25)大滝(9:32)～(9:50)50℃位の源泉～(11:35)最後の滝かけ流しの滝～(11:54)登山道(12:15)～(14:30)天狗山スキー場駐車場